

発行日 令和6年8月1日

会報

68号

ふれあい

(題字 瀬野憲一守口市長書)

暑中お見舞い申し上げます

令和六年 盛夏

公益社団法人

守口市シルバー人材センター

〒570-0097 大阪府守口市桃町3番30号
TEL.06(6998)3601 FAX.06(6998)3659

Mail:moriguchi@sjc.ne.jp

http://www.sjc-moriguchi.or.jp/

令和6年度 定時総会開催

開催

令和6年5月25日（土）午後2時から、守口市文化センターエナジーホールで、令和6年度定時総会が、宇田育子会員の司会進行の下、当センターの名誉理事長の瀬野憲一守口市長をはじめ、各種団体等のご来賓をお迎えし、大規模な形式で開催されました。

川部理事長あいさつ



少子高齢化社会の中、我が国の経済の活力を維持していくためには、高齢者が働く意欲と能力のある限り働き続けられる社会の実現に向けた取り組みが必要不可欠であると認識いたしております。

そのためには、働く意欲のある高齢者が、これまで培ってきた能力や経験を活かし、生涯現役社会の実現を目指した取り組みを進めるシルバー人材センターの果たす

べき役割はますます重要となっております。

しかし、このような状況の中、我々シルバー人材センターを取り巻く環境は、令和5年度から施行されたインボイス制度によりこれまでにはなかった新たな税負担が生じていること、また、いわゆるフリーランス新法をはじめとする制度改正が本年度に予定されており、我々の行く手を阻むような高い壁が立ちふさがるなど、大変厳しい情勢となっております。

また、コロナ禍の影響や企業等の定年制の延長等もあり、当センターの会員数は、昨年に比べ33人減少し、1,100人となり、6年連続の減少となりました。

令和6年度の会員数の目標は1,180人としており、その目標を達成するには、まずは、会員の皆様が、センターに入会して良かったと感じていただけることが最も重要だと考えています。

そのためには、新たな就業機会を確保し、より多くの会員の皆様が就労を通じて、社会参加、健康

増進、生きがいの充実につながることを経験していただくことが、新たな会員の入会促進につながるものと考えております。

本年度も役・職員が一丸となつてセンター事業を推進してまいりますので、会員の皆様はもとより関係各位のご指導・ご協力を引き続きお願いいたしますと存じます。

センター在会十年表彰と 退任役員への感謝状贈呈

センター在会十年表彰者の47人を代表して、古崎博己会員が表彰状を受領されました。



名誉理事長

瀬野 憲一
守口市長祝辞



最近のテレビのニュースで、守口市の介護保険料が、全国1700余りの自治体の中で、全国で高い方から2番目であったというニュースがありました。

正しくこの仕組みを皆さんに理解していただくため、少しだけ説明させていただきますと、介護保険料の決定は、皆さんが守口市内で介護保険のサービスを利用されますと給付費という経費が発生します。その必要経費を半分に割り、半分を国・府・市で負担し、残りの半分を被保険者で所得に応じ、ご負担いただくこととなっております。

高いものを、もう少し抑える必要があると考えますが、サービスの提供を受けられる方が多い、また、それだけサービスを受けられる機会が、他の市町村より充実しているということでもあります。

できるだけ給付費を減らす、もちろん、介護サービスの提供を受けられる方には、きちっとサービスを受けていただくべきですが、

みんなで進める センターのデジタル化

「スマホこそ「シニアの味方」

今、守口市シルバー人材センターでは、会員の皆さんをはじめ、多くの方々から、「魅力あるセンター」と感じていただけるよう、様々な取り組みを行っています。

その取り組みのひとつとして「デジタル化」を進めています。

何のためにセンターでデジタル化を推進するのか、また、センターは何を目指しているのか、会員の皆様にとってのメリットは何か、等々を多田事務局長と金光デジタル担当職員のお二人にインタビュー方式で取材を行いましたので、皆さんにご紹介します。



Q1 先ず、守口市のシルバー人材センターでは、今デジタル化を進めています。その背景について教えてください。

A 国においては、国民の幸福な生活を実現するために「デジタル社会形成基本法」を施行し、デジタル庁がスタートしました。これらにより、現在、社会全体がデジタル化の流れにあります。

Q2 それでは、センターは、何を目的としてデジタル化を推進しているのですか。

A センターのデジタル化の最初の目的は、公益法人としての枠組みの中で、業務をより効率化し、それにより生み出したマンパワーを、会員の皆さんが一人でも多く就労していただけるよう就業機会の拡大や受注の件数の拡大などを図り、もって、会員の満足度を上げていただくことなどを目指して進めることとしました。

Q3 では、センターが行っているデジタル化には、どのようなものがありますか。

A センターでは、現在ご提供している就業情報などの情報を、スマートフォン（スマホ）やパソコンで見られるようにデジタル化を進めています。昨年度から、事務局便りや仕事の情報などは、ホームページ（HP）やLINEから見られるようになりましたし、今年は、配分金明細も見られるようになっていきます。

Q4 では、デジタル化によって我々会員にとって、どのようなメリットがありますか。

A 就業の情報は、これまででは、センターで受注簿を閲覧していただいていたのですが、遠方から

だと頻繁に来られない等のお声をいただいていた。今は、すぐにHPやLINEで見られる事で、会員の方には好評をいただいています。ちなみに、新規の情報をHPに掲載すると、直ぐに問い合わせの電話が入るなど、日増しにご利用いただいている会員が増えていきます。また、配分金の明細書は、今は印刷して自宅まで届けていますが、今後はLINEで早くお届けができ、紙の省資源化やコスト削減をすることが可能になります。

Q5 HPやLINEをするには、「スマホ」が必要ですが、一部の会員は、まだスマホを持っていない方もおられます。この方たちは、どうすればいいのですか。

A センターのデジタル化は、必ずではありませんが、スマホがあればより便利に進められます。スマホは、画面が大きく見やすく、タッチ操作ができるので、慣れれば使い勝手も必ず良くなります。さらに、今では、格安のスマホもあることから、ガラケーから変更することも、この際、検討していただければいかがでしょうか。

Q6 会員のメリットは理解しましたが、スマホ操作に苦手の我々のために、センターの研修会を行って欲しいのですが。

A 昨年は、スマホやタブレットの使い方を専門の方に来ていただいて研修を行いました。今年は、配分金明細の利用という事でスマホでの登録の仕方や、LINEの使い方、資料の見方の研修を行っております。また、専門の業者の方にセンターに来ていただき、スマホに興味のある会員の皆さんにスマホの簡単な操作方法や購

入に関する会員限定の説明会を開催することを検討しておりますので、この機会を見逃すことなく、是非とも、ご検討下さい。



また、当たり前のよう
に普段の生活の中にあ
るデジタル化に対する
不安を事務局の取り組
みを通じて、少しずつ
も解消していただきた
いと考えています。先ず
は、簡単などころから始
めていきますので、解
らなくても、何度でも事
務局に気兼ねなく問い
合わせください。思っ
ているより簡単で、スマ
ホでできることが増え
ると楽しいですよ！

Q7 研修等のサポートを何度でも問い合わせたいなど、色々な取り組みも行っておられますが、会員からどんな声が聞かれますか。

A 「思ったより簡単ですね。」というお声を聞きました。特に普段使われているLINEで、守口シルバーの情報が簡単に見られるので、便利になったという声を聞かせていただいています。
Q8 センターの研修で学んだことは、今後もいろいろな場面で役立ちますね。

A センターで初めてLINEを登録された方もおられました。使っているうちに操作も慣れてきたとの声もいただいております。他にも、色々な情報誌でQRコード（バーコードのようなもの。最初からスマホに入っているカメラアプリ

で簡単に読み取れます）を読み取って、仕事だけでなく、行きたい場所やお店の割引等のお得な情報もとれますので、結構役に立ちますよ。少し踏み出すだけで、生活は格段に豊かに便利になります。我々と一緒に、デジタル化にチャレンジしましょう。

Q9 最後にセンターからデジタル化について何かあればお願いします。

A 今年の秋頃にいわゆる「フリーランス新法」という法律が施行されます。

フリーランスとは、「業務に応じて企業や団体と自由に契約を交わし働く人」を指しますが、その多くが若年層だと想定し、その方々の労働環境の保護を目的とした法律が運用されます。

しかしながら、この法律は、我々、シルバー人材センターの会員にも適用され、取引の適正化や受託者の保護の観点より、業務委託する際の就業条件（業務内容や金額、支払日等）の明示が義務付けられることとなっています。これに伴い、国から、全国の全ての

シルバー人材センターにデジタル機能の強化や、スマホでの情報の明示を求めるようになり、守口シルバー人材センターでも対応する必要がありますので、デジタル化の推進は必要であり、今後とも進めていきますので、会員の皆さんにおかれましては、ご理解とご協力を切にお願いしたいと思っております。

Q10 本日は、ありがとうございました。

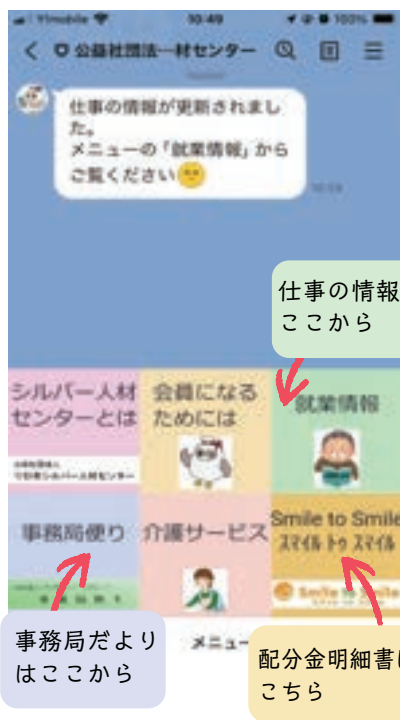
（聞き手 浅田・渡邊）

下記 QR コードをスマホで読み取りしてください

LINE画面



ホームページ画面



皆さん、 女性部運営委員会の 活動をご存じですか？



女性部運営委員会は平成23年、女性会員の拡充や就業分野の開拓などを目的として組織されました。以降、主目的活動のほか、女性会員相互の交流を図るため、約10年にわたり「女性の集い」として「カラコ体操」や「料理教室」などを開催してきました。その結果、女性会員比率も徐々に拡大し、毎年各種の活動を実施してきました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、令和2年、シルバーフェアをはじめ女性部のイベントも中止となり、活動が休止状態となりました。そして令和5年5月、新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、様々な行事、イベントが再開されました。

シルバーフェアに初の女性相談窓口

多くの人がマスクから解放され、社会が以前の生活に戻り始めた令和5年10月21日、4年ぶりのシルバーフェアが開催されました。



女性部運営委員会でも、フェアへの参加を決定し、入会促進のためシルバーセンターの名前は知っているが、「活動内容がわからない」、「男性には相談しにくい」などの声に応え、気軽に話を聞くことのできる「女性のためのなんでも相談」コーナー設けました。

また、以前実施していた「脳トレ」を復活し、「平面ルービックキューブづくり」体験コーナーも開設しました。

女性の健康講座に39名が参加

人生100年時代を迎え、会員の健康志向はますます高まっています。昨年の12月15日に、花王グループカスタマーマーケティング(株)様から講師を招き、「血めぐり改善と睡眠習慣」をテーマに健康講座を実施し、一般参加者(非会員)を含む39名が参加しました。



血液の循環が、身体の健康を担

う重要な生命維持システムであり、ウォーキングや入浴などで身体を温めることが大切だと知りました。また、良い睡眠をとるため、朝日を浴びることで身体を目覚めさせるスイッチをオン。昼寝や就寝のタイミングなど良い睡眠をとるための睡眠習慣の重要性など、日常生活の中でできる健康づくりを学びました。

また、当日のアンケートには「体操」「運動」など、身体を動かせるものや「介護(施設)」「老後のそなえ(終活)」など、これからの人生の備えに関するイベント希望もありました。今後も幅広い企画を検討していきます。

新企画「おしゃべり会」が誕生

新型コロナウイルスによる活動休止もあり会員減少が進むなか、女性部でも会員拡大のため非会員の女性にシルバーセンターの活動を、会話を通して知ってもらうことを目的にした「おしゃべり会」を企画しました。また、この会は会員の親睦を深めることも目的にしています。



第1回は、新たなコミュニティ形成イベントとして令和6年2月19日、時節柄「桃の節句」に合わせてひな人形を作りながらの「おしゃべり会」を開催し、会員20名が参加しました。

人形の骨組みは、段ボールなどの荷造り結束（PP）バンドを使用します。PPバンドを結び形作った骨組みにクレープ紙（ヒダやシワ付の加工紙）を貼りつけ和装のイメージを施します。頭部は綿棒という、いかにも手造り感溢れるひな人形です。

懐かしいひな人形造りとあつて参加者のおしゃべりも弾みました。

シルバーセンター「デジタル化」を後押し

現在シルバーセンターでは業務の「デジタル化」が積極的に進められ、スマホを活用した業務改革が行われています。「便利になりましたね」という声がある一方、「難しいので操作がわからない」という人も少なくないと思います。

そこで女性部では、スマホを使う楽しさや便利さを体験できることを目的にした「スマホ操作&おしゃべり会」を5月22日に開催し、一般参加者（非会員）を含む27名が参加しました。



当日は、シルバーセンターのパソコン班会員4名がサポートに入り、センターのHP検索、LINEのお友達登録、会員専用「Smile to smile」への登録を行いました。また、各々が知りたい操作について質問するなど、和気あいあいの雰囲気なか盛り上がりしました。

女性部運営委員会のこれから

令和5年度は3回にわたりイベントを開催しました。令和6年度にも既に「スマホ操作&おしゃべり会」を開催しましたが、7月18日には松下記念病院様から講師（薬剤師）を招き、健康講座「薬とサプリメントと健康食品」の違いについてを「ふれあい」を楽しみにしてください。

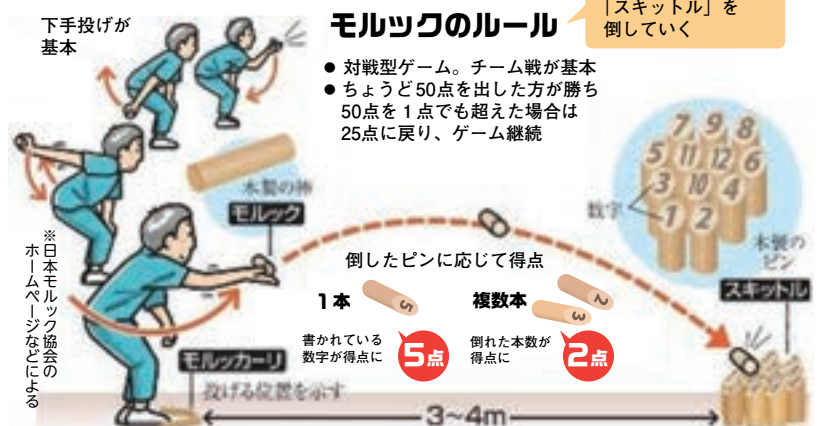
また、9月18日にはスポーツ講習会・木製のピン競技「モルック」を企画しています。

現在センターでは「ハロウィン」でお馴染みのカボチャを10月に幼稚園などにお届けする予定で、園芸班の会員さんに愛情を込めて育ててもらっています。

「モルック」を投げて「スキttl」を倒していく

モルックのルール

- 対戦型ゲーム。チーム戦が基本
- ちょうど50点を出した方が勝ち
50点を1点でも超えた場合は25点に戻り、ゲーム継続



女性部運営委員会では、今後も活動を継続しながら、新しい取り組みを進め、会員相互のコミュニケーションを図るとともに、女性会員の入会促進に務めます。つきましては、会員の皆様のご理解ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

（女性部運営委員会）



送迎バス添乗

浅田 真由美さん 「H25年入会」

《送迎バス添乗も10年目》

今年5月、会員在会10年表彰を受彰された浅田さんの仕事は、2015年から始めた幼稚園の送迎バスの添乗です。園児たちとの日々のふれあいの楽しみや苦労話を語っていただきました。

職場は京阪電鉄大和田駅近くにある大阪国際大和田幼稚園です。午前2回、午後2回、若干の増減はあるものの、毎回約20人の園児たちのお世話をされています。送迎コースは幾つかあり、「たくさんさんの園児を見守っていますが、みんな名札をつけているので、殆どの園児の顔と名前は覚えていきます」と話されます。

《9年間無事故です》

送迎は安全が第一で、乗車時と降車時に先ず浅田さんが人数等の確認を行い、再度運転手さんも確認するなど安全に注意を払われています。昨今、ニュースで報じられる置き去り事故は勿論「今まで無事故で続けられた事が幸いです」

と語られていました。

園児からは「先生」と呼ばれているそうで「せんせい！せんせい！とみんながアニメや恐竜の名前、ユーチューブで知った事を一生懸命教えてくれるんですよ」そんな元気一杯の園児たちも園での一日を終えると帰りのバスの中で疲れて寝てしま

う子供も多いそうです。

また、「車内では、皆で歌を唄ったりもしましたが、新型コロナの影響でバス内はマスク着用で会話もできず、園児たちには辛い思いをさせました。一時、休園になった時期もありました」と振り返られました。

《園児といるときが一番》

楽しい事が多い仕事のようにですが、園児への接し方にはたいへん気を遣っているそうです。特に言葉遣いに注意し、「例えば相手を否定する



「キラキ」と言う言葉は使いません。反対に「〇ちゃん、大好きよ」など子供が傷つかない言葉かけを意識しています」また、叱るときには、保護者に叱った理由を直接説明するなど信頼関係にも気を遣っておられます。バス内で「お漏らし」のハプニングもあるそうで、細心の注意と多様な対応を必要とする仕事ですが「とにかく園児といると楽しいんです」と笑顔で話される浅田さん。

《身体の続く限り》

休日には、脳トレのクイズやレース編みをするのが楽しみで、健康維持法は「園児が相手なので仕事が運動代わりになっています」とのことです。送迎バスのステップの乗り降りが辛くない限り、この仕事を続けたいと話されます。「シルバーの剪定班で働く主人と旅行に出かけるのが楽しみです」とキラキラ輝く「先生」でした。

(聞き手 森田)

守口市障がい者・高齢者交流会館 受付事務

平島 匡さん 「89歳 H14年入会」

始めに取材予約の電話をさせて頂いた時、お声の若々しさと受け答えの明確さに驚かされた、そんな平島さんにお話を伺いました。

H14年からH26年まで市民会館（現在の消防署の場所）で受付をし、H27年から守口市障が

員介



会 紹



い者・高齢者交流会館で勤務しています。

「現在のお仕事について」

交流会館

には3つの部屋が有り、お茶・お花・三味線・ラジオ体操等で部屋を利用される方々が訪問され、私は窓口で入館者の受付を主に週3回、1日4時間程働いています。又、就業にあたって市民救命士認定証・普通救命講習修了証等を取得しました。



「高齢でもシルバーで働く動機は？」

まず「健康の維持とボケ防止」、「人に迷惑をかけずに生きる」を目的に、時々体育館のジムにも通っています。

「シルバーのデジタル化については？」

スマホは持っているが「電話しか使わない」「見方が解らない」「操作が追いつかない」「困るな」が答えでしたが、取材者と一番盛り上がったのが「江戸時代なら、生まれてから死ぬまで物事は殆ど変わらへんのに、現代は追いつくのも大変や」でした。

取材終了後、平島さんはシルバー二階廊下の窓を開けられ「昔はこの向かいの家に住んでいました。ここから呼んだら電話もいりません」と笑っておられました。

(聞き手 富山)

(株) 平和マネキン勤務

宮崎 千明さん 「H23年入会」

Q1. 以前はどのようなお仕事をされていましたか？

調理師歴40年でその内30年和食のお店を70歳までしていました。魚のさばきなどはお手のものですよ。

Q2. どのような経緯で平和マネキンで働くことになりましたか？

H24年から緑地清掃など多岐にわたる単発の仕事から始まり、そ



の中の平和マネキンの仕事が続きました。現在は週2、3日の勤務になり、もう10年続いています。

Q3. 平和マネキンではどのようなお仕事をされていますか？

会社名は「平和マネキン」とマネキンの名前が入っていますが、私の担当は催事やイベント用の仕器の準備と回収してきた仕器の整理をしています。

Q4. 今のお仕事の環境はいかがですか？

働き心地が良く、同じ部署にシルバーの方が7、8名おられるし、体が続く限り、また会社が働かせて下さる限り続けたいです。

Q5. 仕事以外で何か楽しみはありますか？

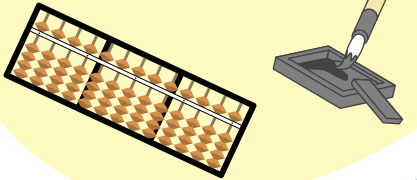
コロナ前は草野球をしておりましたが、今はプロ野球観戦。
又、料理を作っています。家で苦も無くやっています。

健康には自信が有り、仲間にも、仕事にも恵まれお話を伺っていて、充実した人生を送られているのだと感じました。

(聞き手 木村)

そろばん教室 書道教室

シルバーからは独立され、
個人で教室を開いて
頑張っておられます。



現在、南部エリアコ
ミュニティセンター
で教室を行っています。教室の見学・
体験 **大歓迎!**
一度、ちょこっとのぞいてみませんか?
色々な方に参加していただくとシルバー
人材センターでも定期的開催できるかも…



着付け教室

みんなで着物を楽しんでます♡

| | |
|-------|---------------|
| 4月 | 春のお出かけ |
| 7月 | 浴衣でランチ (お食事会) |
| 10月末頃 | もみじ🍁狩り (お出かけ) |
| 1月 | 新年会 (お食事会) |

春のお出かけ
大阪城までお散歩に行きました♡



英会話教室

英会話教室

月謝：2,000円 / 月
教材費込み、月2回の受講
基本：第2・第4木曜日
(14:00 ~ 15:30)
※変更する場合あり
場所：南部コミュニティセンター
第4会議室



生徒募集中!

きもの着付け教室

- 開講日 毎週月曜日
10時～(※第5週はお休み)
- 受講料: 月4回 3,000円

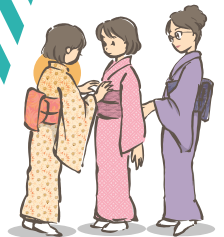
- 開催場所: 山口県シルバー人材センター 本部1F市民ホール303号
- 少人数制での指導ですので「無理なく楽しく」進められます。
- 初心者でも安心。基本から丁寧に指導いたします。
- 全くの初心者でも、準備物からお教えします。
- 着付け・訪問着・袴のきかた、帯の締め方などを基本から指導します。
- 着物の種類はしません。



Hello. Thanks.
See you.



「ほっとオアシス」閉鎖後 教室はどうなったの?



パソコン・スマホ教室

訪問教室もあります。
御気軽に
お問合せ下さいね。

予約してね

お試しの入門講座

第2・第4木曜日
12:30 ~ 15:30



受講生募集中

パソコン・スマホ教室

◎教室開催日

| | |
|-----|---------------------------|
| | シルバー人材センター |
| 火曜日 | 9:30~11:30 13:30~15:30 |
| 木曜日 | 9:30~11:30 13:30~15:30 |



◎開催場所：山口県シルバー人材センター 本部1F市民ホール303号

- 受講料：1回(2時間)2,200円
- マンターマンで、あなたのペースに合わせて指導します。
- あなたのノートパソコンで教習します。
※パソコンをお持ちでない方は、お貸しします。(使用料1回300円)
- 年齢制限はありません。

《教習内容》

- ワード・エクセル・年賀状の作成、デジカメ写真の取り込み等
- インターネット・メールの使い方 ● スマホの操作等

詩吟のひろばの ご紹介です



開催日時：月2回 第2、第4月曜日

13時30分～15時30分

休日などの場合変更になる事もあります。

開催場所：センター2階会議室

会費：無料

講師：西本 良子さん



経歴：H24年からH26年まで介護（子育て支援）の管理者としてシルバー人材センターで勤務。
退職後、H28年よりホットオアシスで「詩吟のひろば」をボランティアで開催される。

◆詩吟とは？

漢詩や和歌などに節をつけてうたうもの。（吟じる、詠じると言う）
詩の情景や美しい日本語を味わう。

◆詩吟を始めたきっかけは？

知人から勧められて。



◆詩吟を始められて何年になりましたか？

28年になります。

◆在籍されている方は何名ですか？

7、8人

（取材時は男性2人、女性3人でした。）

ホットオアシスが老朽化で閉鎖になり、今年度からセンターの2階で始まりました。

当日の参加メンバーの詩吟歴は1～7年位。「センターは広くて気持ちよく吟じられるからいいよねえ」の声がありました。

西本様が「詩吟コンダクター」

で演奏され、それに合わせて皆さん吟じられていました。（よく声が通っていましたよ。）

西本さんよりコメント

シルバー会員に広く知ってもらい、参加してもらえたらうれしいです。

取材者の感想

5月27日（月）午後2時過ぎに体験を兼ねて参加取材しました。

「芳山懐古」のプリントを頂戴しました。漢詩、古典、歴史の世界ですね。

声を出すことで、誤嚥性肺炎を防ぎ認知症予防の利点あり。（おなかの底からわくお！）って気分です。ストレス発散にもなります。

一人暮らしの方など、話をする機会が少ない方には特におすすです。

肺に空気を入れる呼吸法で声帯を広げ発声したり、腹式呼吸で声を出し、健康にも良い！です。

シルバー会員の皆様！一度「詩吟のひろば」を覗いてみてください。初めての人も以前に習っていた人も大歓迎！とのこと。です。

（聞き手 安達）

頭の体操

詰将棋に 挑戦!!



問題2 五手詰め



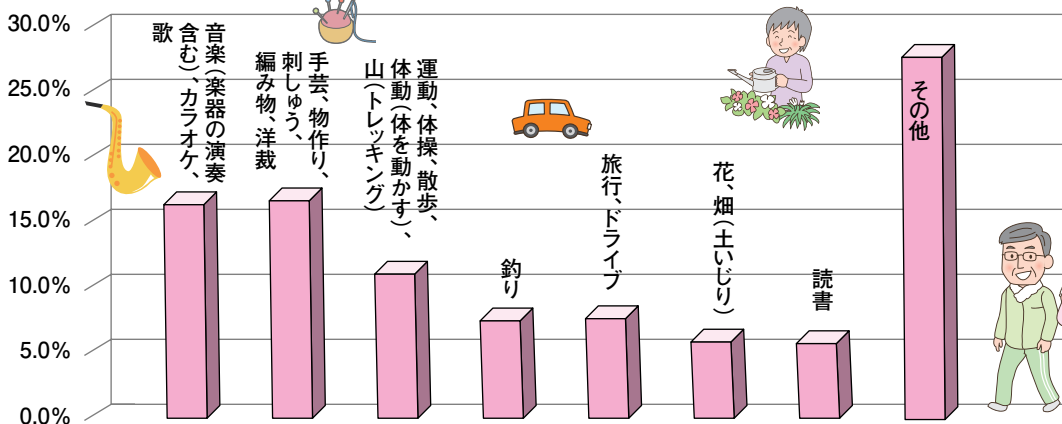
問題1 三手詰め



回答は最終ページの下段に掲載

会員アンケート

趣味は何ですか？



賛助会員

当センターの事業目的に賛同し、事業発展にご協力いただいています。

株式会社 いたや酒店

株式会社 井上設備工業

植田土地建物 有限会社

大阪国際大和田幼稚園

共栄工業 株式会社

近畿刃物工業 株式会社

株式会社 鴻進テック

さらやあすなる医院

学校法人津嶋学園認定こども園 三郷幼稚園

砂原鍼灸院

株式会社 dixisept

株式会社 トークティ守口

一般財団法人 日本老人福祉財団 大阪ゆうゆうの里

株式会社 マサキ

株式会社 宮本ハウジング

守口門真商工会議所

社会福祉法人 守口市社会福祉協議会

山岡金属工業 株式会社

株式会社 山本製作所

社会福祉法人 来迎寺学園

(順不同)

【 個人 】

安藤 直

井上 弘

石井 カヨ

木村 逸郎

白石 フミノ

住吉 考男

立川 昭四郎

南部 泰巳

野口 仁

村田 明雄

山崎 道雄

(五十音順・敬称略)

刷紙で皆様にお届けするのは本号が最後になります。次号からはホームページでお楽しみください。

刷紙がご入用の方は事務所にご用意しております。



編集後記



猛暑が続く毎日ですが、皆様涼を求めて悪戦苦闘されているとお察しします。編集に当たり、コロナ禍で一時8頁となった本誌が前号で12頁に戻り、本号も続けられたことは喜ばしいことでした。会員の皆様の活動が再び活発になり、デジタル化など新しいステージ記事が掲載されたのも社会の変化を感じます。

本センターのデジタル化について詳しい解説が本号で紹介され、皆様の理解もまた一歩深まったのではないのでしょうか。急速にデジタル化が進む一方、古くからの「紙文化」はまだまだ根強く、暫くの間デジタルと紙の「二刀流」もまた、必要なかもしれません。本誌編集においても、事務連絡はLINEでやり取りし、原稿作成もタブレットやパソコンで行いました。慣れない広報委員も苦戦しながらも一歩一歩前進しています。

会員の皆様も、少しずつ「令和の文明開化」に馴染んでまいりましょう。

(編集後記担当 森田)

| 広報委員会 | |
|-------|-------|
| 委員長 | 渡邊 岩雄 |
| 副委員長 | 森田 玲子 |
| 委員 | 浅田 勉 |
| 委員 | 安達 容子 |
| 委員 | 木村 憲廣 |
| 委員 | 富山 好美 |